

このページは市民の皆さんと一緒に作るページです。投稿・登場をお待ちしています。秘書広報課（市役所内線207）

ふれあい広場

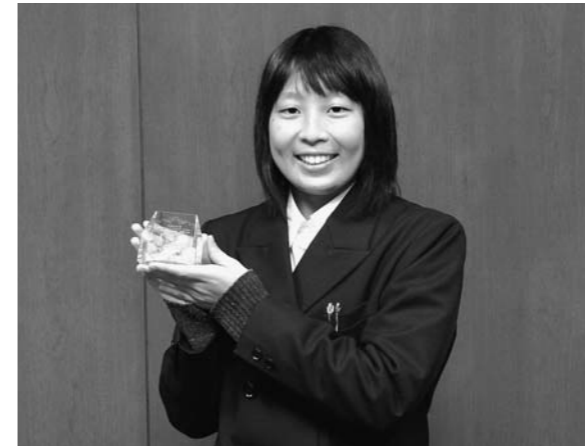
クローズアップ

今、「旬」の人や団体を紹介します。

化学を通して身近なエンジニアでみんなの役に立ちたい

11月15日から16日にかけて盛岡市で開かれた「高校生ものづくりコンテスト全国大会」の化学分析部門に、西脇工業高校工業化学科3年生の竹内沙知さんが初出場を果たしました。

高校生ものづくりコンテストは、全国の工業高校に通う生徒たちが工業技術や技能を競う「高校生ものづくり甲子園」とも呼ばれる大会。化学分析部門では「キレート滴定法」という方法で、試料水



高校生ものづくりコンテスト全国大会に出場
竹内沙知さん

の硬度（カルシウムとマグネシウムの含有量）の測定が課せられ、手順の正確さや速さ、薬品の量をコントロールする精度などを競います。西脇工業高校は数年前からコンテストに挑戦してきましたが、競合校も多く、これまでは近畿大会2位が最高でした。実習科目での竹内さんの手先の器用さと黙々と分析を続ける忍耐力が注目され、竹内さんは、2年生の蛭田真未さんと共に、学校を代表して全国を目指すことになりました。

精度の限界に挑む

化学分析を得意とする宇野聖子教諭の指導の下で順調に力を付けた竹内さんは、化学の魅力を一ほんの0・03ミリリットル測定結果がずれただけで減点されるなかで、試料の色がもう変わらない限界ギリギリの値を見極めるのが面白い」と語り、「化学の世界では『1滴』というのとはとても多い量。私たちは3分の1滴という量を

感覚を研ぎ澄まして操作しています」と教えてくれました。近畿大会で優勝、初の全国へ

6月から毎日根気強く練習に励んだかいあって、8月20日に大津市で開かれた近畿大会では、多くの強豪校を下して初優勝。竹内さんは、近畿11校の頂点に立ちました。全国大会への出場を決めた竹内さんでしたが、初めての舞台は戸惑うことばかりでした。「全国から集まった参加者10人は、審査員にずっと手元の動きを見つめられていて緊張状態にある。さらに、条件を公平にするため、使い慣れた実験器具の持ち込みは許されなかった」と竹内さん。

化学は誰にも身近なもの

竹内さんにとって化学とは何かを尋ねると「例えば、生活に欠かせない携帯電話一つをとっても、その素材や塗料は化学が生み出したものです。このように、世の中に溢れる多くのものの原点は化学だと思っています。一見、化学はとっつきにくいと思われがちですが、実は、身近なところでもみんなの役に立っています。それがまた、化学の魅力です」と、輝くような笑顔で答えてくれました。

「実験器具はガラス製で繊細。緊張すればするほど、無意識のうちに普段の癖が出てしまうので、手元の操作に神経をすり減らした」と当時の心境を振り返ります。

来年からは、大学で化学の道へ本格的に進むという竹内さん。いずれは化学の分野から創業に携わりたいと考えているそうです。

子育て奮闘記

子育て中の皆さんからのおたよりをご紹介します



娘は3年前、出産予定日から10日遅れの「節分の日」に産まれました。わが家と実家の分の巻き寿司をたくさん抱えたまま病院に駆けつけた夫の姿に、分娩室は笑いに包まれました。今でも、そのときの安心感と、初めて娘を抱きしめたときのそれまでに感じたことのないような満たされた感覚を覚えています。「いつも笑っている太陽みたいなお母さんになりたい」と強く

思ったことも……。娘は、もうすぐお姉ちゃんになります。元々おてんばな性格であることに加えて、最近はやいやと赤ちゃん返りで毎日怒っては泣き、「抱っこして」の繰り返し。私もつい声を荒らげてしまい、「今の私は、太陽みたいなお母さんとは程遠いなあ」と落ち込んでばかりです。最近、娘は私が怒っていると「お母さん、笑ってる？」と顔を覗き

込んできます。そんなとき、ハッとさせられることもしばしばです。人見知りせず、年上相手にも一歩も引かない頑固な娘ですが、最近はお風呂で私のふくらましてきたお腹の上におもちゃを置いて「はい、どうぞ。早く出てください」と語りかける優しい一面を見せてくれるようになりました。娘が成長していく「今」の姿を見逃さないように、しっかりと彼女のこころを見つめ直したいと思います。

子育て学習センターから

子どもに対して、つい怒りっぽくなってしまうのは、正面から子育てと向き合っているからでしょう。子どもは親の笑顔が大好きです。また、私たち大人も、そんな子どもの無邪気な笑顔に救われた気持ちになります。子どもと共に心豊かに過ごせるよう、日々を大切にしたいのです。

市民の皆さんのまちづくり活動をご紹介します

みんなでまちづくり♪

西脇区とんど焼

▼とき 1月11日(日)午前10時～(9時45分受付)
▼ところ 蓬萊橋東詰 杉原川河川敷▼主催 西脇地区コミュニティ活動推進協議会▼問合せ 西脇区事務所(☎22・2127)

とんど火まつり

▼とき 1月12日(月・祝)午前9時～▼ところ こみせん比也野前▼主催 ええまち比也野里▼内容 七草粥・豚汁・団子の振る舞い、ひょうたん焼販売▼問合せ こみせん比也野(☎24・0120)

阪神淡路大震災20年 1・17メモリアル演奏会、震災展及び防災体験

▼とき 1月17日(土)午前10時45分～午後0時45分▼ところ 西脇北高等学校 体育館・グラウンド砂場▼内容 室内管弦楽団「コレギウム・ムジクム・デル・チェルボ」によるコンサート、語り部活動、阪神淡路大震災展示、防災体験(土のう作り)▼問合せ 西脇北高等学校(☎22・5850)

あそびの広場 (1月)

子どもたちに、手遊びや読み聞かせなどを行います。どなたでも参加できます(10時～正午)。

○あいあいランド

7日(水) おしゃべり広場
8日(木) ベビーの広場
10日(土) ふぁみりープログラム
24日(土) ふぁみりープログラム(総合市民センター2階)

☎22-4150

○へそっこランド

27日(火) ベビーの広場(黒田庄福祉センター3階)

☎28-5702

◆問合せ 子育て学習センター

(☎28-5702/☎28-5703)

いいききにしわきっ子



りお 村上 里桜 2歳9カ月
そなた 颯汰 1歳3カ月

正典・けいこ (黒田庄町福地)
いつまでも2人元気で仲良くね。

いいききにしわきっ子を募集しています。写真と紹介文、連絡先を市役所2F秘書広報課へ郵送またはご持参ください。